

No.	区分	氏名	学部・研究科	内容
1	個人	西村 幸泰	基幹理工学研究科2年	校友会奨学生で2017年度総代・副総代となった。
2	個人	宮原 佐智子	人間科学研究科2年	校友会奨学生で2017年度総代・副総代となった。
3	個人	高橋 優依	法学部4年	第1回国際取引法エッセイ・コンテストの学生の部で最優秀賞(第1位)を受賞した。
4	個人	鈴木 辰巳	創造理工学研究科2年	学生や若手建築家のための建築コンペを開催する国際的組織「ARCHMEDIUM」主催のROME CONTEMPORARY CHAPEL(2017年)でSecond Prizeを受賞した。
5	個人	坂井 聖人	スポーツ科学部4年	リオデジャネイロオリンピックの競泳男子200mバタフライで銀メダルを獲得した。
6	個人	福田 倫史	スポーツ科学部4年	2017年10月に早稲田大学山岳部の卒業生組織である稲門山岳会の登山隊としてヒマラヤ山脈の未踏峰「ラジョダダ(標高6,426m)」に派遣され、世界で初めて登頂に成功した。
7	個人	市川 直実	人間科学部5年	山梨学生稲門会を支え、上部組織である全国早稲田学生会連盟の常任委員会では、史上初の女性委員長として地方学生会の活性化と地方校友会との連携強化に多大なる貢献をした。
8	個人	福本 大希	政治経済学部4年	杉原千畝氏の功績を語り継ぐ「WAVOC公認千畝ブリッジングプロジェクト」に参加し、当地の方々に日本文化を通して同氏の理解を深める努力を行うなど、日本とロシアの懸け橋として重責を担ってきた。また、同氏を紹介するガイドブックの執筆・販売を手掛け(1万部発行)、収益はすべて杉原記念館の運営費に寄附するなど社会活動にも貢献した。
9	団体	スキー部	—	秩父宮杯・秩父宮妃杯第91回全日本学生スキー選手権大会で創部史上初めての男女アベック優勝を果たした。
10	団体	バドミントン部 男子部	—	第68回全日本学生バドミントン選手権大会の男子団体に24年ぶりの優勝を果たした。
11	団体	ウエイトリフティング部 女子部	—	文部科学大臣杯第18回全日本大学対抗女子ウエイトリフティング選手権大会(I部)の団体に11年ぶりの優勝を果たした。
12	団体	学生環境NPO環境ロドリゲス	—	校友会最大の祭典である稲門祭において、校友と活動をともにし、祭典の成功に多大な貢献をした。
13	団体	早稲田祭運営スタッフ	—	校友会最大の祭典である稲門祭において、校友と活動をともにし、祭典の成功に多大な貢献をした。
14	特別賞個人	川村 静児	1981年理工学部卒 1983年理工学研究科博士前期課程修了	2017年10月にノーベル物理学賞に輝いた国際研究チーム「LIGO(ライゴ)」に対し、重力波検出器の“心臓部”とも言えるレーザー干渉計の開発で貢献をした。
15	特別賞個人	中村 太地	2011年政治経済学部卒	2017年10月に将棋の第65期王座戦五番勝負に羽生善治王座(五連覇中)の挑戦者として出場し、対戦成績3勝1敗で初タイトルとなる王座を奪取した。
16	特別賞個人	萩原 鼓十郎	2015年政治経済学部卒	2017年10月に早稲田大学山岳部の卒業生組織である稲門山岳会の登山隊としてヒマラヤ山脈の未踏峰「ラジョダダ(標高6,426m)」に派遣され、世界で初めて登頂に成功した。
17	特別賞個人	鈴木 雄大	2017年法学部卒	2017年10月に早稲田大学山岳部の卒業生組織である稲門山岳会の登山隊としてヒマラヤ山脈の未踏峰「ラジョダダ(標高6,426m)」に派遣され、世界で初めて登頂に成功した。

(以上)